

## 第6章

### 総合水管理計画の骨子

#### 6.1 マスタープラン策定方針

本6章においては、ムシ川流域にふさわしい水管理計画の骨子について検討する。マスタープラン策定の方針は以下の通りである。

- (1) 南スマトラ州の持続的発展のために、流域の適正な管理がムシ川流域にとって喫緊の課題となっている。本調査で策定される総合的水管理のマスタープランはムシ川流域における水管理にかかる方針と全体的方向を示すものである。
- (2) マスタープランにおいては必要な事業計画を単に抽出するのではなく、ムシ川流域にとって、重要な課題、緊急な課題、総合的な課題に的を絞ることとする。
- (3) 総合的水管理の“総合的”については、次のような課題を含むものとする。
  - ムシ川流域全体に関わる課題
  - 複数分野に関わる課題（例えば、水質と水供給、流域荒廃と水質）
  - 分野間の競合が生じている課題

#### 6.2 マスタープラン策定にかかる前提条件

##### 6.2.1 国家的背景および地域開発目標

国家的背景と地域開発計画はマスタープラン策定における基本的な前提条件として考慮した。それらの要旨は下記の通りであり、本報告書の2章に詳述されている。

##### 国家的背景

1997年の経済危機の後、インドネシア国政府はGBHN 1999-2004に従い、国家開発戦略の再構築に着手しはじめた。GBHNにおいては、持続可能な発展を目指して、政府組織と国家全体を運営管理するための4つの方針がまとめられている。GBHNにまとめられているいくつかの重要事項のうち、本調査に特に深く関係するものは、国家財政の透明性と地方自治権における行政システムの再組織化である。水分野の政策においては、インドネシア国政府は抜本的な改革を実行している。

GBHNに基づいて2000年10月に策定された中期開発戦略であるPROPENAS 2000-2004 (5ヵ年国家開発プログラム)においては、地方分権政策に基づいて国家開発がまとめられており、この点が過去のどの開発計画とも全く異なっている。このPROPENASにおける水資源開発管理の方針は、効果的かつ効率的な水資源管理に資する水文データ収集管理システムの改善、法規制の強化による表流水汚濁の防止(特に工業地区や都市部の流域において)、流域保全や水利用増加への対応に有効な流域の各種機能を確保すること等を網羅している。

新地方分権法 (Law No.22/1999: UU22/99)、財政均等化政令 (Government Regulation No.25/1999: PP25/99) が、GBHNやPROPENASによって方向付けられた目標を達成するための基本的な法令である。水分野においては、新水資源法案 (PROPENASの第3条に明記されている、法No.11/74の改正版) が、まもなく包括的な法律として導入される。また、現在、水資源管理における政令(案)が準備中であり、今後は、新水資源法の施行も控えている。

### 地域開発目標

行政システムの変更(地方分権化)後、地方行政はRENSTRA(戦略的中期開発計画)やPROPEDA(地方行政計画)、あるいはPOLA DANSAR(基本枠組み)を策定・構築した。これらのほとんどの地方開発計画は、人的資源の開発、地方資源や特性を活かした経済成長、環境保全と持続可能な発展の両立を考慮した開発、社会基盤の整備(特に離村において)等の目標を共通認識として網羅している。

## 6.2.2 目標年次および目標年次における社会経済状況

本調査においては、類似調査や2019年に完了する第2次25ヵ年長期開発計画(PJP II)を考慮して、マスタープランの目標年次を2020年に設定した。ムシ川流域の目標年次の人口については、調査に関連する県や市の予想結果(表6.2.1参照)に基づいて設定した。

表 6.2.1 人口予想及び年人口増加率(千人)

Regency/Municipality	2002	2005	2010	2020
Palembang	1,506 (2.1%)	1,598 (2.0%)	1,752 (1.8%)	2,058 (1.5%)
Ogan Komering Ulu	1,202 (1.7%)	1,263 (1.6%)	1,365 (1.5%)	1,568 (1.3%)
Ogan Komering Ilir	1,019 (2.1%)	1,083 (2.0%)	1,189 (1.8%)	1,403 (1.5%)
Muara Enim	749 (2.1%)	795 (2.0%)	873 (1.8%)	1,028 (1.5%)
Lahat	690 (1.3%)	717 (1.3%)	763 (1.2%)	853 (1.1%)
Musi Rawas	672 (2.3%)	717 (2.2%)	794 (2.0%)	946 (1.6%)
Musi Banyuasin	1,309 (2.9%)	1,422 (2.7%)	1,609 (2.4%)	1,984 (1.9%)
Total	7,146 (2.1%)	7,565 (1.9%)	8,344 (2.0%)	9,840 (1.7%)

将来のGRDPについてはPJP IIやPROPENASにおいて設定された目標値を参考にして想定した。その結果、それぞれのセクターにおける中度なGRDP成長シナリオは表6.2.2の通りとなった。

表 6.2.2 将来GRDPの算出結果

Regency/Municipality	Actual GRDP in 2000 (Rp. billion)	GRDP in 2020 (Rp. billion)	Growth 2000-2020 (% p.a.)
Palembang	8,147	18,858	4.3
OKU	3,230	6,967	3.9
OKI	2,916	6,205	3.8
Muara Enim	3,129	5,986	3.3
Lahat	2,258	4,815	3.9
Musi Rawas	1,710	3,623	3.8
MUBA	4,501	9,429	3.8
Total	25,890	55,883	3.9

注: 2000年の値については石油・ガスを考慮していない

### 6.3 ムシ川流域総合的水管理における上位目標

本調査において明確になった問題点や、インドネシア国全体および地方における方針を熟慮して、ムシ川流域総合水管理における上位目標を以下のように設定する。

- (1) 適切な流域管理による肉体的および精神的な幸福の増進
- (2) 環境保全を考慮した持続可能な発展の維持
- (3) 流域全域における平等で均衡がとれた持続的地域開発の実現

総合的水資源の具体的な達成目標については、7章において検討したマスタープランのそれぞれのコンポーネントによって明確化している。

### 6.4 マスタープランコンポーネントの策定(今成すべきことに焦点をあてて)

マスタープランのコンポーネントについては、本調査における現地調査、解析、現場踏査、PCMを通じて明らかになった分野別問題点に基づき、総合的水管理の観点から策定した。

- コンポーネント 1: 水利用管理
- コンポーネント 2: 氾濫原管理
- コンポーネント 3: 流域回復・保全
- コンポーネント 4: 都市水環境改善
- コンポーネント 5: モニタリング体制整備
- コンポーネント 6: 制度・制度強化

